

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年10月22日(金)

その2

## ◇ WEB 配信による校外行事説明会 10/4 山の学習 10/12 修学旅行

「山の学習」「修学旅行」実施前に開催する事前説明会について、いずれも今年度は「密を避ける」ことをねらいとし、保護者に学校に足を運んでいただく【従来方式】から【WEB方式】に変更して実施させていただいた。会をご案内する時期が緊急事態宣言の発出下であったことや、宣言の延長が繰り返される中の対応によりやむを得ず変更したが、「WEBのよさ」を見つけられたことは収穫であった。保護者の皆様には、急遽変更にもかかわらずご協力いただき、感謝申し上げたい。

さて、説明会等の冒頭で行う「校長あいさつ」がある。WEB配信となると、これまでと勝手が違う。今年、何度か経験をしたが、カメラ相手の語りは不得手だ。「難しい」と言った方がよいだろう。経験の少なさが苦手意識を抱かせるのだと思うが、なかなか慣れるまでには時間がかかりそうだ。

「校長あいさつ」の後、校外行事の「詳細説明」に移る。両説明会のいずれも6年生担当の浅野教諭が担ったのだが、一言で言えば、「VERY GOOD」。理由は「分かりやすさ」。これに尽きる。

従来方式の説明会では、説明会用の要項が保護者に配付され、記載された項目について、担当が口頭で丁寧に説明していく。よって、聞き手は目で要項の文字（記載内容）を追いながら、耳で担当者の説明を聞くわけだ。つまり、そこには【見る】と【聞く】という「2つの動作」がある。

「目で追う文字情報」と「耳から入る情報」が同じならば全く問題はないのだが、情報がずれてしまうと、欲しい情報が整理されないまま説明が進んでいき、質問したり、後で再確認したりするなどの手間が加わってしまう。これを解消したのが6年生を担当する浅野教諭。名付けて【浅野流】である。


「校長あいさつ」が終わると、画面が自分を写す「カメラ映像」から説明用の「パソコン画面（プレゼン画面）」に切り替わる。浅野教諭のマウス操作ひとつだ。

続いて目に飛び込んできたのは、要項の内容を端的にまとめたキーワードと簡単な内容説明。見やすい大き目の文字のほか、色文字や吹き出しも利用している。聞き手は、『この説明だな』と一目で分かるのがよい。

時折、イラストや写真を織り込み、場面をイメージしている聞き手をほっとさせる。

さらに浅野教諭は、キーワードと内容、さらに表記のない詳細事項について丁寧な説明を添えていく。こうすることで、「見る情報」と「聞く情報」は常に同一步調を保ち、情報のずれは生じないしくみだ。だから「分かりやすい」。

5. 参加者



○6年生児童 8名  
○引率 校長、養護教諭、6年担任

6. 日程

1日目 (前半)

学校 → ジャンボタクシー → 三河安城駅  
→ 京都駅 → 法隆寺



浅野教諭が最後まで画面に顔を出さなかったことは、少しばかり残念だが、常に控えめで、出しゃばらない浅野教諭（中学校時代は超大規模校の「生徒会長」）のこと。「登場渋り」かとも思ったが、これは余分な詮索。聞き手に集中してもらうための工夫であった。

以上、発信者側から一方的に私的見解を述べさせていただいた。

今回実施した WEB 説明会は、双方向のやり取りができず、一方通行配信となった点など、改善の余地はある。※双方向なら、質問に対して、その場で回答できる。これらも、やったからこそ分かったことであり、次の機会に向けて検討していく。

参考に教えていただきたいのは、聞き手側（保護者側）の感想や意見である。さすがに「入学説明会」は WEB で行うことはできないが、何度も学校に来校したことがある高学年の保護者向けの説明会ならば、今回実施した「WEB 形式の方がよい」、「WEB ではなく、従来方式がよい」などの受け手側の感想や考えをお伝えいただけるとありがたい。（※保護者会・PTA 役員会・学校(教頭)への電話など）